

## サステナブル調達 WEB

### 価値創造への使命

当社が目指す「共創型化学会社」の実現に向けて、サプライヤーおよび全てのステークホルダーと共に、サステナブルな社会の実現へ貢献することが調達部門の使命です。その実現にはサプライヤーとの長期的な信頼関係を築くことが不可欠であり、調達業務における高い倫理観を持ち、公正・公明な調達の仕組みを整備し、責任ある調達活動として“サステナブル調達”を実践していきます。

### 方針と推進体制

サステナブル調達を実践していくために、下記3項目を活動の基本方針としています。

- 社会的責任 (CSR) : 開発・製造～物流・最終消費までの事業活動におけるCSR向上
- 公正な調達活動 : 品質・安全性・経済性のみならず、CSRまで総合的に勘案した最適なサプライヤー選定と公正な調達業務の遂行
- パートナーシップ : サプライヤーとの相互理解と信頼に基づいた対等な協力関係の構築

これらを一層強固にするため、当社調達部門内に、購買・下請取引や各種法令遵守に関する内部モニタリング、コンプライアンス関連の社内教育、サプライヤーへのCSRアンケートとフィードバックなどに取り組む専任チームを設けて、サステナブル調達の先導役を果たしていきます。

### 長期ビジョン実現に向けた戦略

当社は、原材料調達から製造・販売・物流に至るサプライチェーン全体でサステナブルな事業活動を実践しており、サプライヤーと共に取り組んでいただきたいことを「サステナブル調達ガイドライン」 WEB としてまとめ、協働で遵守することでお互いの企業価値向上を図る取り組みを進めています。調達部門では、以下の視点から効果的な施策を検討し実施します。

- サステナブル調達ガイドラインのサプライヤーへの配布と、受領確認書の取得による浸透の徹底
- CSRアンケート・CSR訪問の手法改善による質の高いコミュニケーション基盤の整備
- サプライヤーとのオープンな意見交換による双方の事業強化への貢献
- 調達担当者への継続的な教育・啓蒙活動によるスキルアップと、プロフェッショナルとしての意識づけ

### 長期ビジョン実現に向けたロードマップ

2022年実績	2023年計画	ありたい姿(2030年)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● レゾナック統合版サステナブル調達ガイドラインの公開</li> <li>● CSRアンケートの実施(回収率92%)</li> <li>● CSR訪問の実施(47社 ※旧昭和電工のサプライヤー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSRアンケートツールの機能向上と運用定着</li> <li>● 各サプライヤーのCSRの取り組みに対する現状レベルの把握、評価基準の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サプライヤーと共に取り組みのレベルを向上し、サステナブルな社会を実現</li> </ul>

### マテリアリティの重要項目(KPI)の目標と実績

WEB P58 / マテリアリティと非財務KPI

KPIと2025年目標	2022年実績
<b>サプライヤーとのコミュニケーションの質の向上:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● CSRアンケートの回答率の向上、基準点以上のサプライヤーの比率の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 統合新会社のサステナブル調達ガイドライン策定開始</li> </ul>

### 2022年の取り組み

CSRアンケート(自己診断)については、主要な既存サプライヤーには3年に1回、原則新規サプライヤーには全て取引開始時に回答していただいています。2022年は、339社から回答をいただきました(全体において92%の回答率)。これらを集計し、各サプライヤーが全体・業界別平均に対してどのようなレベルであったかを明示し、改善に向けたアドバイスをまとめたフィードバックレポートを、診断を実施したサプライヤー全てに送付しています。また、「CSR訪問」を47社実施し、サステナブル調達の実践に向けたさまざまな意見交換をさせていただきました。

### 2022年 CSRアンケート「サプライヤーCSR自己診断」結果

回答サプライヤー数:339社総合平均点:63.0点

点数	サプライヤー数(比率)	改善への取り組み
50点以上	273社(81%)	改善を要する項目についての取り組み、および高得点項目のさらなる充実を要請
30点以上、50点未満	52社(15%)	改善を要する項目についての取り組みを要請、当社からの改善施策の提案 *必要に応じて訪問し、双方の取り組みについて意見交換、次回の自己診断において改善状況を確認
30点未満	14社(4%)	改善を要する項目についての取り組みを要請、当社からの改善施策の提案 *必要に応じて訪問し、早期の改善に向け協議、次回の自己診断において改善状況を確認